

討 論

議案審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べ、今定例会の最終日には、議案5件について討論が行われ、その要旨は次のとおりです。

後期高齢者医療に関する条例

賛成 日本共産党 本田 哲議員
これまでの老人保健制度では、75歳以上の高齢者は、保険証の取り上げが禁止されていましたが、本制度は、保険料の支払いができなければ、保険証を取り上げられ、資格証明書が発行されます。お金のあるなしで、命を差別して扱う、とんでもない制度です。

反対 日本共産党 岡崎 郁子議員
本案は、国保加入者に後期高齢者支援金を賦課するもので、一世帯当たり平均負担額は年1万円余の値上げとなり、県内では税額全体が増税とならないよう調整したり、税額を引き下げた市もあります。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

賛成 志政クラブ 浅井 隆夫議員
本制度は、医療制度改革に伴い、20年度から全国一斉に実施される事業であり、県内の75歳以上の高齢者にかかる医療費をもとに、広域連合が県内統一の保険料率を設定

賛成

平成会 伊東 秀浩議員
反対者の指摘について、賛成の立場で見解を述べます。
①繰越金を当初で過大に見積もることは、健全な財政運営上、避けるべきものです。
②人権政策事業は、研修に参加し、正しい知識の習得と理解を深める観点から、人権教育・啓発の一環として妥当なものと考えます。
③民間保育所事業の補助金削減は、国の三位一体改革後、県も同様に取組み、見直しされたものです。民間保育所の経営は、国の保育所運営費の保育単価見直しの中で運営を実施するべきものです。
④給食調理業務委託は、既に6園で適正に実施されており、職員の定員適正化計画と併せて実施されていくものと考えます。
⑤民間委託のALTについては、途中退職や病休休暇等でも、迅速な後任の配置により、授業に支障を来すことがない。

また、経験豊富で、質が高く、効果的な授業の展開、コスト削減を図ることができています。
⑥平成20年度は、生活面でも快適に過ごせる、バランスのとれたサステナブル都市第1位を目指すとスタートラインとして取り組んでいただく配慮をお願いし、賛成するものです。

賛成 民主クラブ 高橋 秀樹議員
①市税徴収の努力は評価するが、滞納繰越は市民税・国保税を合わせて40億円にも上っており、安易な不納欠損とせず、滞納を誘発するような行政は絶対にあつてはならないので、一層の努力をお願いします。
②戸田東小学校の単独校調理場の建設では、設計段階で5300万円のコスト低減を図っている。教育委員会にも経済性を考慮した経営感覚が若干芽生えてきたことを評価するものです。
③笹目小学校の単独校調理場の建設設計費については、職員活用や設計

反対 日本共産党 花井 伸子議員
本案は、国の公立保育園運営費、建設補助費のカットにより「官から民」への流れへと保育の舵とることを求めています。市は、官と民を比較するのではなく、役割を再認識して、本当にいい保育は何か、互いに切磋琢磨することが重要です。市が長年つくりあげてきた公的保育が失われていくことのないよう、一層充実されることを求めて、本案に反対します。

賛成

志政クラブ 浅井 隆夫議員
高齢者医療制度の安定的運営を図るため、各医療保険者が一斉に実施するものであり、本市のみが実施しないことは許されません。
また、県内40市の税率と比較しても、所得割額・均等割額とも低い状況であるなど、被保険者への負担に配慮がされております。賛成するものです。

反対

日本共産党 望月 久晴議員
市税や国保税の増税で生活が圧迫されている中、市税の伸びが福祉の向上に使われず、基金積み立ての大幅な増額に終わったことは残念であります。
施設整備基金の目的は否定しませんが、整備計画ができていない段階から、市民の貴重な税金を10億円も積み立てることは問題です。多額な資金を必要とするものならば、計画内容と資金計画を議会と市民に示し、その合意に基づいて基金に積み立てを行うべきであり、安易な財政運営には反対します。

賛成

日本共産党 望月 久晴議員
市税や国保税の増税で生活が圧迫されている中、市税の伸びが福祉の向上に使われず、基金積み立ての大幅な増額に終わったことは残念であります。施設整備基金の目的は否定しませんが、整備計画ができていない段階から、市民の貴重な税金を10億円も積み立てることは問題です。多額な資金を必要とするものならば、計画内容と資金計画を議会と市民に示し、その合意に基づいて基金に積み立てを行うべきであり、安易な財政運営には反対します。

反対 日本共産党 望月 久晴議員
市税や国保税の増税で生活が圧迫されている中、市税の伸びが福祉の向上に使われず、基金積み立ての大幅な増額に終わったことは残念であります。施設整備基金の目的は否定しませんが、整備計画ができていない段階から、市民の貴重な税金を10億円も積み立てることは問題です。多額な資金を必要とするものならば、計画内容と資金計画を議会と市民に示し、その合意に基づいて基金に積み立てを行うべきであり、安易な財政運営には反対します。

反対

日本共産党 望月 久晴議員
①歳入の繰越金は、繰越見込額の50%程度は当初予算に計上し、市民の暮らしや福祉の向上のための予算を組むべきです。

賛成

日本共産党 望月 久晴議員
老祝金の削減で財政力を高めて、サステナブル都市の評価で高いランクを得ても意味がなく、財政力を市民の暮らし応援のために使うべきです。

議員提出議案 5件を可決

今定例会では、5件の議員提出議案が提出され、説明の後、即決し、すべて原案どおり可決されました。
なお、3件の意見書は関係機関に送付しました。

① 中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書

② 「バイオマス推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書

③ 正規雇用の推進と派遣労働者の処遇に関する意見書

④ 戸田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

⑤ 戸田市議会委員会条例の一部を改正する条例

平成20年度 一般会計予算の主な事業

事 項	予 算 額
民間保育所設置事業 ①戸田駅西 ②北戸田駅前	245,265 千円
病児・病後児保育事業	29,710 千円
学童保育室建替・拡充事業 ①戸田東小 ②美女木小	76,451 千円
母子家庭自立支援給付金事業	2,156 千円
学校給食施設整備事業	435,207 千円
南部地区中学校校長会学力検査事業	2,310 千円
放課後子ども教室事業	12,386 千円
障害者自立支援事業	66,083 千円
後期高齢者医療事業	473,627 千円
健康福祉の杜整備事業	16,938 千円
がん検診等事業	98,282 千円
特定保健指導事業	2,802 千円
妊婦健康管理事業	65,614 千円
フラワーセンター運営事業	14,691 千円
戸田南小学校屋上緑化事業	3,644 千円
(仮称) 4号公園整備事業	56,377 千円

事 項	予 算 額
環境	
後谷公園景観改良事業	49,523 千円
温暖化対策支援事業	12,860 千円
基盤都市	
歩道整備事業(市役所南側～戸一小付近)	123,001 千円
さくら川整備事業	126,398 千円
新曽中央地区都市整備事業	48,095 千円
安全・安心	
耐震補強事業(小中学校、新曽福祉センター)	666,184 千円
消防施設整備事業	128,827 千円
防災施設等整備事業	26,020 千円
文化・スポーツ	
市民大学事業	2,883 千円
総合型スポーツクラブ設置事業	1,000 千円
高校総体ボート競技事業	15,770 千円
文化・スポーツ施設整備事業	237,902 千円
くらし・産業	
コミュニティバス路線見直し調査事業	5,387 千円
消費生活対策事業	5,910 千円
産業立地推進事業	10,400 千円
行政	
政策研究所運営事業	2,825 千円
行政計画策定事業	29,218 千円
市議会議員選挙費	84,285 千円